



第 77 号
平成 22 年
4 月 発行

自主自主の心根

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長 須田 晃

戦後の悲惨な物質欠乏に耐え抜き、国民一丸となって復興に取り組んだ人たちがこの「望洋荘」にも多くいらっしやいます。その人達の頑張りによって、奇跡的な発展を遂げて繁栄を謳歌した勢いも、今日、若干陰りが見えるのでは。更に、最近の気がかりは、自分の利益、自分たちの功利ばかりを優先する「エゴ人間」が増えていることです。自由や権利という名をもってエゴイズムが蔓延しているのは悲しいことです。

政治家や政党は、選挙民の甘心をそそのかる都合の良い政策ばかりを並べ立てる。財政破綻が目に見えているのに、国費をばらまく施策をしている。本当に、英邁な政治家はいないのだろうか。文明開化に突き進んだ明治時代には、気骨のある優秀な人物が多くいました。なかでも「国を支えて国を頼らず」の精神を貫き通したのが福沢諭吉です。その福沢諭吉が遺した言葉に、「自由は不自由の中に在り」があります。

「自由」とは文字面だけから見ると、何でも思うがままにできる意にうけとられがちです。しかし、真の自由には義務も責任も伴います。自分勝手とはまるで違う言葉なのです。現在、エゴイズムの自由がまかり通っています。官にも民にも自主自立の精神が乏しく、「国を頼って国に甘える」という状況を呈していないだろうか。人権とか権利という怪しげなことばも、金科玉条の如く叫ばれているのは如何なものでしょうか。

自由とか人権とか、更に権利、或いは平等とか、それらは誰もが一見反対できそうもない言葉ではありますが、こうした言葉の真義は、何なのかを、私たちは良く知る必要があるでしょう。少なくとも、そうした言葉に振り回されないようには心がけたいものです。

国ばかりでなく、私たちの職場でも、各自が職員として真の意味での平等を考え、お互いに意見を付度し、助け合うことが重要です。無関心が一番いけません。目先の利害で判断せず、本当に職場の将来のためになる事業方針とは何かを見極める眼を養いたいものです。自分たちに出来る事は積極的に行動しましょう。時には、痛みを分かち合う覚悟も必要でしょう。自立の精神を身につけ、職業人としての腕を磨き望洋荘に住む方々に役立てたいものです。

「いわき石炭化石館見学」 勿来ユニット

四月二十八日(水)九時三〇分に三名の入居者様と「いわき石炭化石館」に見学に行ってきました。炭鉱で働く人達の様子や暮らしぶりなど見て、すごく懐かしがられていました。もともと炭鉱の盛んな地区であり、炭鉱に携わっていた方も多く、当時の暮らしに自分達の若かりし頃の思い出が蘇ってきたのではないのでしょうか？ その他にも恐竜や鯨などの化石を見たり、触れたり、楽しまれていました。



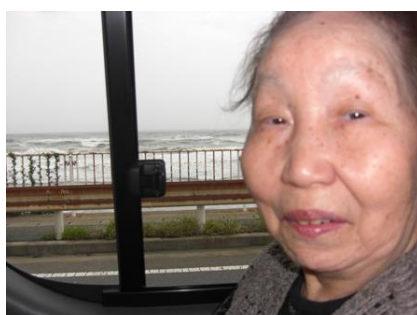
「お花見」 四倉ユニット

四月二十三日(金)九時三〇分に須田医院さんの協力を頂きお花見に行きました。当初は三崎公園に行く予定でしたが、前日より雨の悪天候の為に、須田医院さんのサニールームをお借りして医院前の小島公園の花見となりました。久しぶりの外出に入所者様も向かう車の中でも外の景色を眺め楽しく会話をされていました。桜を見ては「綺麗だね！」「いつ見ても良いね！」など皆様喜ばれていました。



「ドライブ」

ようやく春の暖かい日差しが注ぐようになり、入居者様の気分転換を図るために一週間ほど天気が良い日にドライブに出掛ける事に致しました。入居者様の希望を聞き、海岸線沿いを通り、太平洋や灯台を眺め、所々に咲く桜の花を見て春の季節を感じる事が出来たと思います。中には、新しくなった「いわき駅前」を見たいとおっしゃる入居者様もあり、綺麗になった。いわき駅にびつくりの様子でした。



平成十年十月十六日に行われた、第十三回市民公開講座「医療・福祉・介護のネットワークの現状と展望」抄録集に掲載された挨拶です。介護保険制度が導入される前であり、介護保険制度の重要性とあり方を市民の方々にご理解頂ける様に行われた会でした。

第十三回 市民公開講座での団会の挨拶

「医療・福祉・介護の

ネットワークの現状と展望」

いわき市医師会

副会長 須田 晃

本日、第十三回いわき市医師会主催の市民公開講座開催にあたり多数の市民の皆様にご出席いただきまして、誠に有り難うございます。今回は、現在話題になっております介護保険のこともあり、「医療・福祉・介護のネットワークの現状と展望」をテーマに取り上げてみました。この会は、冒頭に私共の松崎医師会長が述べましたように、お集まりの皆様と医師会が一緒に学習できればということで設定した次第でございます。

基調講演としまして、講師の関 先生には、公私御多忙のところ私共の要請を快くおひきうけいただき、長年の経験を基にした貴重な事例と今後の展望を述べていただき大変勉強になりました。先生の今後の益々のご活躍をご祈念申し上げますと同時に今後共、私共へ一層のご指導をお願い申し上げます。

また、パネルディスカッションにおいてはパネリストとして、歯科医師会の中里先生をはじめとして、諸先生方には、それぞれの立場からの体験に基づいた素晴らしいお話をしていただきありがとうございました。

本講座を開催するにあたりまして、いわき市当局をはじめとしてご後援をいただいた関係機関、報道関係各社、さらに本日、早くからお手伝いただいた医薬関係の皆様にも心から御礼申し上げます。

介護保険も平成十二年から発足というものの、一年後のいまごろには本格的に活動が開始されます。この保険制度の施行には市町村が主体になりますので、いわき市としてもそれらに対応することは、勿論のこと、この制度を軌道に乗せるためにも一段のあわただしさが予想されます。

私共医師会としまして、医療、保健、福祉、介護の根元は医学にあると考えております。本日

のテーマにもございますように、これらの問題解決（介護保険制度の円滑な実施）のためには、多くの職域の方々が在宅ケア・ネットワークに参画していただきたいのです。私共も対等な立場でかかりつけ医として積極的に協力しなければならいでしょう。さらに、本日は各分野の方々に、お話し戴きましたように皆様と共に、講師の関先生のお話しされたケアコンファランスを持ち福祉活動、介護の面においても、緊密に連携を組まなければならいわけであります。

当然、そのためには多数の市民の皆様にも、これらのネットワークについて理解していただく必要がございます。それが本日の公開講座の目的のうちの一つでもあります。皆様と共に高齢者の福祉と介護を通していわき市における「人に優しい街作り」の為に貢献してゆきたいものと感じております。

以上をもちまして、本日は医師会と市民が、一同に会して学習するこの会に、ご出席ご協力いただいた、講師の関 先生、パネリストの方々、ここにご参加された市民の皆様には医師会を代表いたしまして、簡単ではございますが感謝の言葉といたします。

ありがとうございました。

「望洋荘家族会総会」

四月十八日(日)午後一時より、平成二十二年
度「望洋荘家族会」総会を望洋荘二階多目的ホール
にて開催致しました。今回の総会では、平成二十
一年度の事業活動報告、収支決算報告を行いました
た。また平成二十二年の役員選出、事業活動計
画、予算などが審議され、承認されました。
平成二十二年「望洋荘家族会」役員は下記の
通りです。

会長	田村 義輝	新任(副会長)
副会長	猪狩 トミ子	再任
会計	小林 茂	新任(会計)
監事	佐藤 勝雄	新任(理事)
理事	熊田 清美	再任
理事	鈴木 廣彦	新任
理事	赤間 修	再任
理事	柴崎 順子	再任
理事	安田 隆司	新任

以上十名の皆様が今年度(平成二十二年四月一
日より平成二十三年三月三十一日)望洋荘家族会
の為に御尽力頂ける役員の皆様です。

各ユニットの家族会担当役員、ユニットリーダ
ーは左記の通りです。何かお気づきの事や要望な
どありましたら、お気軽にお声をお掛け頂きます
様お願い致します。皆様からの声が望洋荘に住む
入居者の生活向上につながる様に努力します。



ユニット名	上段 中段 下段	担当役員 担当役員 ユニットリーダー	役員
永 崎	柴崎 鈴木 箱崎	順子 彦直 廣直子	様
四 倉	田村 藤野 佐草	輝雄 由香 義勝	様
勿 来	猪狩 田藤 熊伊	トミ子 美寿 清正	様
薄 磯	佐藤 安佐 田藤	子司 誠 洋隆	様
豊 間	赤間 小林 小村	修茂 宏智	様

五月の行事予定

五月四日(火)午前一〇時
「子供みこし」
五月九日(日)
「母の日」各ユニットにて実施
「母の日を祝うお茶会」勿来ユニット
「カラオケ倶楽部」薄磯ユニット会場

【五月のお誕生会予定】

五月一日(日) 薄磯 山際イクト様 (一〇五歳)誕生会
五月五日(水) 豊間 赤間直子様 (八〇歳)誕生会
五月七日(金) 永崎 岩佐勉様 (七八歳)誕生会
五月九日(日) 勿来 吉田貞雄様 (七九歳)誕生会
五月十日(月) 永崎 小林ヤエ様 (八三歳)誕生会
五月十日(月) 四倉 磯邊スセ様 (八五歳)誕生会
五月十日(月) 豊間 鈴木ヒテ子様 (八三歳)誕生会

編集後記

『望洋荘』便り
平成二十二年四月三十日発行
発行所 いわき市 平豊間字合磯三十九番地

社会福祉法人 りんさく福祉会

介護老人福祉施設 望洋荘

電話 (0246) 55-7373
FAX (0246) 55-7255